

(再評価)

資料3-6-②
関東地方整備局
事業評価監視委員会
(平成23年度第4回)

一般国道139号 都留バイパス

平成23年10月31日
国土交通省 関東地方整備局

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道139号	都留バイパス	L=8.0km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
6,100~16,500	2	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	302億円	88億円	390億円
うち残事業分	75億円	26億円	101億円
基準年における 現在価値 (C)	492億円	29億円	520億円
うち残事業分	63億円	8.6億円	71億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成31年度			
単年便益 (初年便益)	42億円	1.6億円	0.41億円	44億円
基準年における 現在価値 (B)	627億円	22億円	6.1億円	655億円
うち残事業分	76億円	9.8億円	0.61億円	86億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	135億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.8%
費用便益比（残事業）	1.2
経済的純現在価値（残事業）	15億円
経済的内部収益率（残事業）	11.3%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	6,100~16,500 (台/日)	±10%	1.1~1.4
事業費	302億円	±10%	1.2~1.4
事業期間	39年	±2年	1.2~1.4

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	6,100~16,500 (台/日)	±10%	1.1~1.3
事業費	75億円	±10%	1.1~1.3
事業期間	7年	±2年	1.1~1.3

交通状況の変化

事業名：都留バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路： 8.0km	交通量 ^{※1}	[台/日]	-	11,900	
	走行時間 ^{※2}	[分]	-	11	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	-	26.61	
②主な周 辺道路	国道139 号： 6.3km	交通量	[台/日]	21,800	13,900
		走行時間	[分]	17	11
		走行時間費用	[億円/年]	76.51	28.58
	戸沢谷村 線： 3.7km	交通量	[台/日]	8,000	3,400
		走行時間	[分]	17	11
		走行時間費用	[億円/年]	25.46	11.42
	都留道志 線： 0.6km	交通量	[台/日]	9,400	7,500
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	1.81	1.30
③その他道路合計 36.5km	走行時間費用	[億円/年]	46.20	41.44	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：55.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	149.98	109.36	40.62

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

事業名：都留バイパス（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路： 8.0km	交通量 ^{※1}	[台/日]	10,200	11,900	
	走行時間 ^{※2}	[分]	10	11	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	23.70	26.61	
②主な周 辺道路	国道139 号： 6.3km	交通量	[台/日]	15,100	13,900
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	31.66	28.58
	戸沢谷村 線： 3.7km	交通量	[台/日]	3,500	3,400
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	11.54	11.42
	都留道志 線： 0.6km	交通量	[台/日]	8,000	7,500
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	1.42	1.30
③その他道路合計 36.5km	走行時間費用	[億円/年]	45.91	41.44	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：55.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	114.23	109.36	4.88

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名:都留バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成23年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 <input checked="" type="checkbox"/> (H42) 複数時点での推計 <input type="checkbox"/>	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計 <input checked="" type="checkbox"/>	
		整備の有無のいずれかのみ推計 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		いずれかのみ推計の場合 <input type="checkbox"/> 推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
		有の場合のみ <input type="checkbox"/> 考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 <input type="checkbox"/> 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 <input checked="" type="checkbox"/>		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度 <input type="checkbox"/>		
	採用理由を記載		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		関東地方整備局の実績値により設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:都留バイパス (事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.23	8.0	1.84

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-39年目	S 55	3.3731	86.4	0.10	0.35		
-38年目	S 56	3.2434	88.6	0.10	0.33		
-37年目	S 57	3.1187	89.6	0.10	0.31		
-36年目	S 58	2.9987	90.5	20.64	61.55		
-35年目	S 59	2.8834	92.3	20.64	58.03		
-34年目	S 60	2.7725	93.0	20.64	55.38		
-33年目	S 61	2.6658	94.6	20.64	52.35		
-32年目	S 62	2.5633	94.4	20.64	50.44		
-31年目	S 63	2.4647	94.9	0.37	0.86		
-30年目	H 1	2.3699	97.4	0.10	0.21		
-29年目	H 2	2.2788	99.6	0.10	0.20		
-28年目	H 3	2.1911	102.0	0.55	1.07		
-27年目	H 4	2.1068	103.4	0.69	1.26		
-26年目	H 5	2.0258	103.7	0.02	0.03		
-25年目	H 6	1.9479	103.6	0.21	0.36		
-24年目	H 7	1.8730	103.0	1.54	2.52		
-23年目	H 8	1.8009	102.4	3.81	6.03		
-22年目	H 9	1.7317	103.4	4.10	6.18		
-21年目	H 10	1.6651	102.8	6.40	9.33		
-20年目	H 11	1.6010	101.3	7.21	10.26		
-19年目	H 12	1.5395	99.7	2.90	4.03		
-18年目	H 13	1.4802	98.4	5.00	6.76		
-17年目	H 14	1.4233	96.6	5.00	6.64		
-16年目	H 15	1.3686	95.4	7.50	9.68		
-15年目	H 16	1.3159	94.4	15.00	18.82		
-14年目	H 17	1.2653	93.2	4.52	5.52		
-13年目	H 18	1.2167	92.5	13.28	15.72		
-12年目	H 19	1.1699	91.7	17.40	19.98		
-11年目	H 20	1.1249	91.2	14.61	16.22		
-10年目	H 21	1.0816	90.0	9.26	10.01		
-9年目	H 22	1.0400	90.0	2.57	2.68		
-8年目	H 23	1.0000	90.0	1.43	1.43		
-7年目	H 24	0.9615	90.0	3.95	3.80		
-6年目	H 25	0.9246	90.0	11.57	10.70		
-5年目	H 26	0.8890	90.0	13.48	11.98		
-4年目	H 27	0.8548	90.0	14.67	12.54		
-3年目	H 28	0.8219	90.0	14.29	11.74		
-2年目	H 29	0.7903	90.0	11.43	9.03		
-1年目	H 30	0.7599	90.0	5.72	4.35		
供用開始年次	H 31	0.7307	90.0			1.75	1.28
1年目	H 32	0.7026	90.0			1.75	1.23
2年目	H 33	0.6756	90.0			1.75	1.18
3年目	H 34	0.6496	90.0			1.75	1.14
4年目	H 35	0.6246	90.0			1.75	1.09
5年目	H 36	0.6006	90.0			1.75	1.05
6年目	H 37	0.5775	90.0			1.75	1.01
7年目	H 38	0.5553	90.0			1.75	0.97
8年目	H 39	0.5339	90.0			1.75	0.94
9年目	H 40	0.5134	90.0			1.75	0.90
10年目	H 41	0.4936	90.0			1.75	0.87
11年目	H 42	0.4746	90.0			1.75	0.83
12年目	H 43	0.4564	90.0			1.75	0.80
13年目	H 44	0.4388	90.0			1.75	0.77
14年目	H 45	0.4220	90.0			1.75	0.74
15年目	H 46	0.4057	90.0			1.75	0.71
16年目	H 47	0.3901	90.0			1.75	0.68
17年目	H 48	0.3751	90.0			1.75	0.66
18年目	H 49	0.3607	90.0			1.75	0.63
19年目	H 50	0.3468	90.0			1.75	0.61
20年目	H 51	0.3335	90.0			1.75	0.58
21年目	H 52	0.3207	90.0			1.75	0.56
22年目	H 53	0.3083	90.0			1.75	0.54
23年目	H 54	0.2965	90.0			1.75	0.52
24年目	H 55	0.2851	90.0			1.75	0.50
25年目	H 56	0.2741	90.0			1.75	0.48
26年目	H 57	0.2636	90.0			1.75	0.46
27年目	H 58	0.2534	90.0			1.75	0.44
28年目	H 59	0.2437	90.0			1.75	0.43
29年目	H 60	0.2343	90.0			1.75	0.41
30年目	H 61	0.2253	90.0			1.75	0.39
31年目	H 62	0.2166	90.0			1.75	0.38
32年目	H 63	0.2083	90.0			1.75	0.37
33年目	H 64	0.2003	90.0			1.75	0.35
34年目	H 65	0.1926	90.0			1.75	0.34
35年目	H 66	0.1852	90.0			1.75	0.32
36年目	H 67	0.1780	90.0			1.75	0.31
37年目	H 68	0.1712	90.0			1.75	0.30
38年目	H 69	0.1646	90.0			1.75	0.29
39年目	H 70	0.1583	90.0			1.75	0.28
40年目	H 71	0.1522	90.0			1.75	0.27
41年目	H 72	0.1463	90.0			1.75	0.26
42年目	H 73	0.1407	90.0			1.75	0.25
43年目	H 74	0.1353	90.0			1.75	0.24
44年目	H 75	0.1301	90.0			1.75	0.23
45年目	H 76	0.1251	90.0			1.75	0.22
46年目	H 77	0.1203	90.0			1.75	0.21
47年目	H 78	0.1157	90.0			1.75	0.20
48年目	H 79	0.1112	90.0			1.75	0.19
49年目	H 80	0.1069	90.0	-63.79	-6.82	1.75	0.19
合計				238.38	491.87	87.62	28.61
単純事業費計				302.17		87.62	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:都留バイパス(残事業)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-39年目	S 55	3.3731	86.4				
-38年目	S 56	3.2434	88.6				
-37年目	S 57	3.1187	89.6				
-36年目	S 58	2.9987	90.5				
-35年目	S 59	2.8834	92.3				
-34年目	S 60	2.7725	93.0				
-33年目	S 61	2.6658	94.6				
-32年目	S 62	2.5633	94.4				
-31年目	S 63	2.4647	94.9				
-30年目	H 1	2.3699	97.4				
-29年目	H 2	2.2788	99.6				
-28年目	H 3	2.1911	102.0				
-27年目	H 4	2.1068	103.4				
-26年目	H 5	2.0258	103.7				
-25年目	H 6	1.9479	103.6				
-24年目	H 7	1.8730	103.0				
-23年目	H 8	1.8009	102.4				
-22年目	H 9	1.7317	103.4				
-21年目	H 10	1.6651	102.8				
-20年目	H 11	1.6010	101.3				
-19年目	H 12	1.5395	99.7				
-18年目	H 13	1.4802	98.4				
-17年目	H 14	1.4233	96.6				
-16年目	H 15	1.3686	95.4				
-15年目	H 16	1.3159	94.4				
-14年目	H 17	1.2653	93.2				
-13年目	H 18	1.2167	92.5				
-12年目	H 19	1.1699	91.7				
-11年目	H 20	1.1249	91.2				
-10年目	H 21	1.0816	90.0				
-9年目	H 22	1.0400	90.0				
-8年目	H 23	1.0000	90.0				
-7年目	H 24	0.9615	90.0	3.95	3.80		
-6年目	H 25	0.9246	90.0	11.57	10.70		
-5年目	H 26	0.8890	90.0	13.48	11.98		
-4年目	H 27	0.8548	90.0	14.67	12.54		
-3年目	H 28	0.8219	90.0	14.29	11.74		
-2年目	H 29	0.7903	90.0	11.43	9.03		
-1年目	H 30	0.7599	90.0	5.72	4.35		
供用開始年次	H 31	0.7307	90.0			0.53	0.38
1年目	H 32	0.7026	90.0			0.53	0.37
2年目	H 33	0.6756	90.0			0.53	0.36
3年目	H 34	0.6496	90.0			0.53	0.34
4年目	H 35	0.6246	90.0			0.53	0.33
5年目	H 36	0.6006	90.0			0.53	0.32
6年目	H 37	0.5775	90.0			0.53	0.30
7年目	H 38	0.5553	90.0			0.53	0.29
8年目	H 39	0.5339	90.0			0.53	0.28
9年目	H 40	0.5134	90.0			0.53	0.27
10年目	H 41	0.4936	90.0			0.53	0.26
11年目	H 42	0.4746	90.0			0.53	0.25
12年目	H 43	0.4564	90.0			0.53	0.24
13年目	H 44	0.4388	90.0			0.53	0.23
14年目	H 45	0.4220	90.0			0.53	0.22
15年目	H 46	0.4057	90.0			0.53	0.21
16年目	H 47	0.3901	90.0			0.53	0.21
17年目	H 48	0.3751	90.0			0.53	0.20
18年目	H 49	0.3607	90.0			0.53	0.19
19年目	H 50	0.3468	90.0			0.53	0.18
20年目	H 51	0.3335	90.0			0.53	0.18
21年目	H 52	0.3207	90.0			0.53	0.17
22年目	H 53	0.3083	90.0			0.53	0.16
23年目	H 54	0.2965	90.0			0.53	0.16
24年目	H 55	0.2851	90.0			0.53	0.15
25年目	H 56	0.2741	90.0			0.53	0.14
26年目	H 57	0.2636	90.0			0.53	0.14
27年目	H 58	0.2534	90.0			0.53	0.13
28年目	H 59	0.2437	90.0			0.53	0.13
29年目	H 60	0.2343	90.0			0.53	0.12
30年目	H 61	0.2253	90.0			0.53	0.12
31年目	H 62	0.2166	90.0			0.53	0.11
32年目	H 63	0.2083	90.0			0.53	0.11
33年目	H 64	0.2003	90.0			0.53	0.11
34年目	H 65	0.1926	90.0			0.53	0.10
35年目	H 66	0.1852	90.0			0.53	0.10
36年目	H 67	0.1780	90.0			0.53	0.09
37年目	H 68	0.1712	90.0			0.53	0.09
38年目	H 69	0.1646	90.0			0.53	0.09
39年目	H 70	0.1583	90.0			0.53	0.08
40年目	H 71	0.1522	90.0			0.53	0.08
41年目	H 72	0.1463	90.0			0.53	0.08
42年目	H 73	0.1407	90.0			0.53	0.07
43年目	H 74	0.1353	90.0			0.53	0.07
44年目	H 75	0.1301	90.0			0.53	0.07
45年目	H 76	0.1251	90.0			0.53	0.07
46年目	H 77	0.1203	90.0			0.53	0.06
47年目	H 78	0.1157	90.0			0.53	0.06
48年目	H 79	0.1112	90.0			0.53	0.06
49年目	H 80	0.1069	90.0	-11.77	-1.26	0.53	0.06
合計				63.34	62.89	26.29	8.58

単純事業費計	75.11	26.29
--------	-------	-------

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道139号	都留バイパス	2	8.0km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	17,213	
	改良費		式	1	6,115	
		土工	m3	477,416	899	
		軟弱地盤改良工	m3	50,000	390	
		法面工	m2	44,009	32	
		擁壁工	式	1	1,454	
		管渠工	m	261	24	
		函渠工	m			
		排水工	m	14,851	424	
		中央分離帯工				
	雑工	式	1	2,892		
	橋梁費		式	1	5,337	
		100m以上	m	1,255	4,522	
		100m未満	m	112	816	
	トンネル費		式	1	3,750	
		NATM	m	971	3,750	
		シールド				
	IC・JCT費					
		IC				
		JCT				
	舗装費		式	1	1,276	
車道舗装		m2	74,500	1,169		
歩道舗装		m2	30,594	108		
附帯施設費		式	1	734		
	交通管理施設工	式	1	734		
	遮音壁					
②用地及補償費		式	1	8,874		
用地費		m2	153,000	6,379		
	宅地	m2	33,100	5,164		
	田畑	m2	99,500	1,194		
	山林・原野	m2	20,400	21		
	その他					
補償費		式	1	2,495		
③間接経費		式	1	4,913	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				31,000		

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道139号	都留バイパス	2	8.0km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	5,221	
	改良費		式	1	448	
		土工	m3	31,498	64	
		軟弱地盤改良工	m3	6,000	47	
		法面工	m2	4,985	3	
		擁壁工	式	1	105	
		管渠工	m	40	4	
		函渠工	m			
		排水工	m	1,116	43	
		中央分離帯工				
		雑工	式	1	183	
	橋梁費		式	1	4,281	
		100m以上	m	1,141	4,043	
		100m未満	m	53	239	
	トンネル費		式			
		NATM	m			
		シールド				
	IC・JCT費					
		IC				
		JCT				
	舗装費		式	1	338	
車道舗装		m2	22,420	329		
歩道舗装		m2	2,817	9		
附帯施設費		式	1	153		
	交通管理施設工	式	1	153		
	遮音壁					
②用地及補償費		式	1	1,477		
用地費		m2	29,407	1,177		
	宅地	m2	3,310	592		
	田畑	m2	23,241	581		
	山林・原野	m2	2,856	4		
	その他					
補償費		式	1	300		
③間接経費		式	1	1,130	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				7,828		

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道139号	都留バイパス	2	8.0km

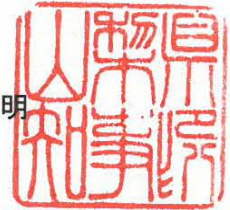
■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	8.0	39	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	145	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			184	

道 整 第 1532 号
平成23年10月20日

国土交通省関東地方整備局
局 長 下 保 修 様

山梨県知事
横 内 正 明



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（回答）

平成23年10月7日付け国関整企画第160号で照会のありました、「一
般国道139号 都留バイパス」の道路事業に対する山梨県の意見は別紙のと
おりです。

(回答様式)

(再評価)

<山梨県>

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」案	山梨県知事の意見
一般国道 139号 都留バイパス	継続	<p>国道139号は、富士吉田市、都留市、大月市を繋ぐ唯一の幹線道路であり、沿線住民にとって重要な生活道路であります。</p> <p>都留バイパスは、都留市内の交通安全の確保や交通渋滞の緩和に大きく寄与し、災害時の緊急輸送路としても重要な役割を果たします。</p> <p>本年3月の法能から井倉の部分供用後は、バイパスへの交通転換が図られ、現道の交通渋滞の緩和や交通量が減少し、地域からも走りやすく、安全になったと喜ばれております。</p> <p>県としても、更なる渋滞緩和や安全性向上を図るため、供用済み区間に引き続き、残区間の早期完成を切にお願いします。</p>